

# 富士宮西ロータリークラブ会報

Rotary



石川 俊洋 会長

国際ロータリークラブ第2620地区 2024-2025年度  
RI会長 ステファニー A. アーチック  
会長 石川俊洋 幹事 大谷裕也

例会場 富嶽温泉 花の湯 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間  
事務所 〒418-0003 静岡県富士宮市ひばりが丘805 富嶽温泉 花の湯内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>  
TEL.0544-28-1126 FAX 0544-25-8182 Mail [fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp](mailto:fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp)

## No.12 通算 1583 号 2024年10月11日(金)

♪Rotary Songs 我らの生業

### ゲスト・ヴィジター

国際ロータリー第2620地区 公共イメージ委員会  
副委員長 梶原幹人様 (伊東西RC)

### 会長挨拶 会長：石川 俊洋 君

つい最近まで毎日暑い暑いとこぼしていたのですがやっとなんとなく秋を感じる季節に代わってきました。そろそろこの時期になると秋祭りの準備が始まり、そわそわしてくる人もいないのでしょうか。富士宮の秋祭りは、浅間大社が祀られた806年より祭祀は執り行われていたようですが、今のように山車や、屋台を引き回すようになったのは江戸時代に入ってから浅間大社の付け祭りとして氏子衆によりはじめられたようです。富士宮に昔から伝わる酒屋当主の日記「袖日記」には、1860年(万延元年)には行われていてこの日は「酒が多く出た」と書かれているそうです。富士の宮の近辺の祭りは、三島大社の「しゃぎり」、旧富士市の「甲子(きのえね)祭り」吉原の「祇園祭り」等ありますが、どこの祭りも山車の上でお囃子の演奏をしたり、舞を舞ったりしますが富士宮の祭りは通称「喧嘩祭り」と言われるようにお囃子と梶子方の山車、屋台での競り合いが主流でお囃子は、相手の流れを妨げ、相手に調子を崩されないように競り合います。梶子方はそれこそ紙一枚までそれぞれの山車、屋台を近づけます 相手の山車、屋台や、提灯、梶子方に絶対触れてはならないのがルールですので、吉原の

祇園のように優雅なお祭りとは少し違い青年たちの熱気がすさまじいことになっています。

お囃子は、明治時代に沼津市の根小屋というところから囃子方を招いて教わったとか、いろいろな説がありますが、曲目や拍子などから起源は関東の神田囃子ではないかともいわれています。

お囃子の構成は、おおど(大太鼓) きんど、ぎんど(締め太鼓) 鉦と、笛の構成で演奏されます私も、青年のころはおおどの担当で競り合いはすごく興奮して楽しいものでした。富士宮囃子は平成7年に静岡県の無形民俗文化財に指定されて『富士宮囃子保存会』という会で伝統の継承に勤めています。

一年を祭りのためだけに生きているような人もいますが、やはり祭りがあると人間のピラミッドがしっかり形成され、上の人には逆らわない…逆らえないが、上の者は下の者の面倒をしっかりとみる。これが大人だけでなく子供たちの中にもちゃんと引き継がれて、地域のいろいろな活動にも役立っています。

昔の記述を見ましても、山車、屋台の保存、維持管理にはお金がかかるし、祭りを執り行うにもかなりの費用が掛かります。「祭りなんて私は関係ないから祭りは反対」という人も中にはいます。祭りは自分たちのテリトリーと、ルールをしっかりと守り参加する人々が一体となって協力し運営しなければ成り立ちません、隣近所のお付き合いを極力避けたいなんて人が多い現在、極端な話をすれば、お隣のおじいちゃんが孤独死していても気づかないような今、お祭りでコミュニケ

【会報委員会】 委員長：加藤康雄 委員：片岡博昌 宇佐美量三 渡邊奈津実 近藤千佳

ーションをとって、協力しあえば防災にも役立つと思うのですが。

お祭りに参加していない地域の方もいらっしゃるかと思いますが、地域のお祭りや行事に参加してリーダーシップをとるのもロータリアンではないでしょうか。

## 幹事報告

幹事 大谷 裕也 君

\*別紙幹事報告書参照

## 出席報告

	会員数	計全会員数	出席	欠席	M U	比率
今週	19	18	17	1	0	94.4%

欠席者：近藤憲司君、外木規之君

## お祝い・記念日

結婚記念日 後藤憲治君 (S55. 10. 19)

加藤康雄君 (S54. 10. 27)

入会記念日 加藤康雄君 (H3. 11. 1)

創業記念日 近藤憲司君 (H23. 11. 1)

## スマイル

- 先日、伊勢神宮を参拝してきました。 …竹田浩富君
- 梶原様、今日はよろしく。 …後藤憲治君
- 梶原さん、今日はお越しいただきありがとうございます。 …渡邊奈津実さん

## 本日のプログラム

ゲスト卓話

### 「公共イメージ向上」活動の実例

国際ロータリー第 2620 地区

公共イメージ委員会 梶原幹人様 (伊東西RC)

公共イメージ委員会は、「人々」が「ロータリー」と聞いて思い浮かべるイメージ（国際組織・ポリオ撲滅・社会奉仕団体・経営者の集まり…等）をブランディングし向上させるための活動を行います。具体的に自分でできることを考え、自分のこととして動くことが重要になります。



まず、誰にどんな目的で働きかけるかを定めるためターゲット戦略が必要となります。マスメディアの特徴やメリットを理解し、自分たちのターゲットに合わせて活動していくことが良いでしょう。

## 2.公共イメージ活動の実例①

### テレビ・新聞・ラジオなどマスメディアの利用

媒体	利用者数	利用者年齢層	メリット
新聞	○	60代以上	信用を大きく蓄める・地元効果大
ラジオ	△	老若男女	メッセージ・話し言葉で訴求できる
テレビ	◎	40代以上男女	多くの方と同期して強く動画でPRできる
ロコミ	×	老若男女	時間がかかるが強く印象に残る
イベント	△	老若男女	実際の姿を見てもらえる機会になる

また、インターネットの活用は必須です。クラブから発信する自クラブのホームページを一度見直してみてください。ホームページコンテンツの中で特にアクセス数が多いのがメンバーリスト=会員紹介ページで、他のページの20倍以上アクセスがあります。地元のロータリークラブを検索し、どんな人が所属しているのかは1番の関心事だと分かります。

## 2.公共イメージ活動の実例②

### インターネットの活用

自クラブHPの活用

- 目的に合わせたコンテンツ
- 担当者に任せきりにならない
- スケジュール等の更新は早めに

LINEグループの活用

- 写真ストッカーとして活用
- アルバムの写真は消えない
- メンバー全員が担当者

Webツールの活用

- 露出・リンク・シェアを活用
- SNS発信、プレスリリース
- グループウェア、連絡網etc

また、地区で新たにパンフレットを作成しました。いつでも渡せるよう常に携帯し、たくさんの方に見てもらえるよう活用していただきたいです。

